

2017年 7月4日

各位

ご案内

第35回JAFIC 漁業情報研究会

**人工衛星情報の漁場予測現場への活用  
と将来展望  
～為石前専務理事退任記念～**

時下、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

常日頃より、当センターの活動に対しまして暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。このほど別紙の通り第35回JAFIC 漁業情報研究会として為石前専務理事の退任記念講演会を企画しました。ここに謹んでご案内申し上げます。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター  
情報企画課  
担当：谷津明彦（やつ・あきひこ）  
Tel:03-5547-6886                      Fax:03-5547-6881  
E-mail: yatsu@jafic.or.jp

第35回JAFIC 漁業情報研究会

**人工衛星情報の漁場予測現場への活用  
と将来展望  
～為石前専務理事退任記念～**

主催：漁業情報サービスセンター

と き：2017年7月28日（金） 15:00～17:00

ところ：豊海センタービル 2F 会議室（東京都中央区豊海町5番1号）

プログラム

- 主催者挨拶：川口恭一（JAFIC 会長） 15:00-15:05
- 趣旨説明：斎藤克弥（JAFIC 漁海況部長） 15:05-15:20
- 話題提供
  1. 人工衛星情報を活用した漁場予測の研究と実用化を振り返って  
為石日出生（前 JAFIC 専務理事） 15:20-16:20
  2. 水産海洋研究における漁場形成・漁場予測の意義と今後の展望（仮題）  
杉本隆成（東京大学名誉教授、元水産海洋学会会長） 16:20-16:55
- 閉会挨拶：淀江哲也（JAFIC 専務理事） 16:55-17:00
- 懇親会  
会場：ホテルマリナーズコート東京 12階「ル・アーブル」  
〒104-0053 東京都中央区晴海4丁目7-28  
電話 03-5560-2511  
懇親会費：5,000円  
★研究会場からの送迎バスもあり

**開催趣旨** 「漁況速報」は1949年に開始され、入港した漁船を回って水温と漁獲情報を集め、無線局から5日に1度発信されていた。その後、この速報へのニーズが高まり、漁場知識普及会などを経て、1972年から漁業情報サービスセンター（JAFIC）が担っている。この現場に根差した研究と水産業への貢献の黎明期をリードした一人が宇田道隆博士（元水産庁東海区水産研究所所長、元東京水産大学教授）である。今回の研究会は、本年6月15日付けでJAFIC専務理事を退任された為石博士にJAFICにおける漁場に関する調査研究とその現場への還元において、特に人工衛星情報（リモートセンシング技術）の活用を焦点とし、その歴史と意義についてご講演をいただき、その労をねぎらいたい。なお、為石博士は1995年に「魚群の回遊および漁場形成に果たす暖水ストリーマの役割」により水産海洋学会の第1回宇田賞を受賞された。さらに、JAFICの業務を含め、漁場形成・漁場予測の将来展望について、杉本隆成博士よりご講演を頂く予定である。

●**事前にメールまたはファックスで参加申込ください**

申し込み締め切りは7月21日（金）正午としますが、定員（80名）になり次第締め切らせていただきます。

●**申込先：漁業情報サービスセンター（谷津明彦）**

E-mail: [sanka@jafic.or.jp](mailto:sanka@jafic.or.jp) Tel:03-5547-6886 Fax:03-5547-6881

漁業情報サービスセンター宛（担当：谷津明彦）

Fax 03-5547-6881

下記のとおり第35回JAFIC研究会に参加申込します

研究会・懇親会参加の○×をご記入下さい。

氏名	所属（団体名・会社名など）	研究会	懇親会 (5,000円)

その他連絡事項（もしあれば）：